

これが「専守防衛」?

空中給油機 F15やF2などの戦闘機などに空中給油できる。これにより行動範囲が広がる。専守防衛を逸脱するとして配備されてこなかった経緯がある。現在**小牧基地**に4機。あらたに**鳥取県三保基地**に3機配備



三沢基地

F35Aステルス戦闘機

レーダーなどでとらえにくいステルス仕様。2017年から配備され最終的には42機。**空対地ミサイル「ジョイント・ストライク・ミサイル」**導入を検討

MV-22 オスプレ 航続距離が長く3900キロ。17機購入予定。総額3600億円。**佐賀空港**が標的に。



三沢基地 グローバルホーク

無人偵察機。1万6千メートルの上空から偵察活動をする。2015年から18年までに配備し3機体制とする。1機25億円。



AAV7水陸両用強襲輸送

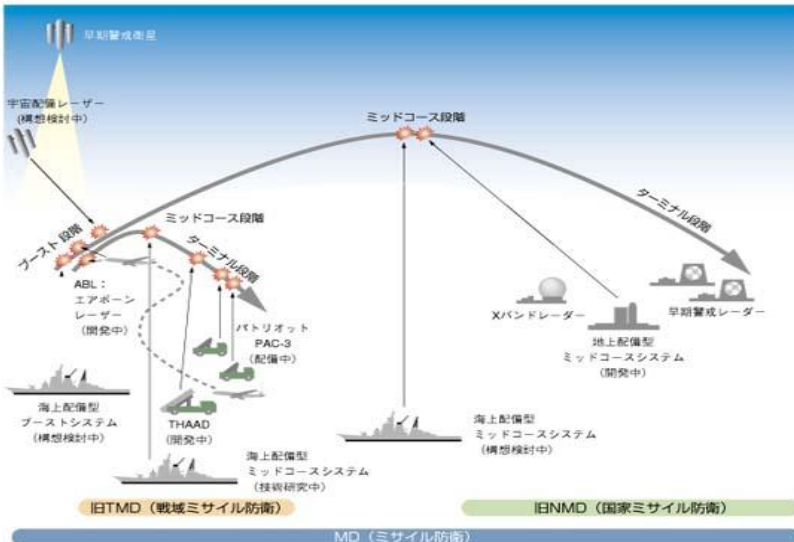
長崎相浦駐屯地「水陸機動団」(日本版海兵隊)新設。2018年度11両、計52両導入予定



護衛艦いずも 全長248メートル。排水量19500t。全通甲板(固定翼機の離陸仕様)だが、防衛省はヘリコプター搭載艦と説明。実際は空母。空母は専守防衛を逸脱するものとされてきた。F35B戦闘機搭載可能。

横須賀基地配備

ミサイル防衛(重層的システム)の概念



ミサイル防衛システム

海上配備型 SM3 イージス艦 8機体制に
陸上配備型 PAC3 全国6つの高射群に配備
新型迎撃ミサイルシステム
陸上配備型イージス(イージス・アショア)の導入?
イージス・アショアは、イージス艦に搭載している迎撃ミサイルシステムを陸上に配備したもの。高度1000キロ以上に達する日米共同開発の迎撃ミサイルSM3ブロック2Aを発射可能。